

「赤磐市教育振興基本計画(教育大綱)」(素案)に対するパブリックコメント(意見募集)の結果

○募集期間 令和元年12月9日(月)～12月23日(月)

○意見提出者 2名(5件)

	住所	該当箇所	頁	いただいたご意見	市の考え方(回答)
1	桜が丘東	V 主要施策 1 生きる力をはぐむ幼稚園教育、学校教育の充実 (1)現状と課題 【学力向上に向けた取組の推進】	7	「全国平均とほぼ同じになっています。」 →認識が間違っています。 正直に認めて、次のように訂正してください。 ①小6:県平均、全国平均を2～3ポイント下回っている。 ②中3:県平均、全国平均より4～5ポイント下回っている。	平成27年度策定の「赤磐市教育振興基本計画」に沿って、学力向上に取り組んできた結果、5年間で徐々に全国平均に近いレベルに近づいてきているとらえており、このような表記をしています。 学力向上については、引き続き、重点施策として取り組んでまいります。
2	桜が丘東	V 主要施策 1 生きる力をはぐむ幼稚園教育、学校教育の充実 (1)現状と課題 【学力向上に向けた取組の推進】	7	「児童・生徒の学力向上」のために ①市内全小・中を「学力向上フロンティアスクール」と指定し、2年間「授業の創意工夫と学力の充実」をテーマに実践し、その結果を市内外に公開する。といった内容を盛り込む必要があります。 ②各校の「学習の仕方」の充実した作成 ③学習習慣の定着に向けた市民運動の展開	①につきまして、個別指導の充実と理解し、「落ち着いた学習環境づくり・個に応じた指導・補充学習の充実を図るために学習支援員や大学生ボランティアを配置する」の記載の中に含まれていると考えています。この取組は重点施策としており、その成果は「赤磐市教育委員会事務点検・評価書」で毎年公開しております。また、公開されている「全国学力調査結果」にも反映されると捉えています。 ②につきましては、岡山県教育委員会が作成した「岡山型学習指導スタンダード・増補版」「岡山型家庭学習のスタンダード」を基本とした学習を進めています。また、「岡山型」を基本にしたうえで学校独自の学習の仕方も作成している学校もあります ③につきましては、推進施策のひとつである「学校支援ボランティアの充実」に含まれると理解しています。 いただいたご意見は、今後の取組の参考とし、具体的な実施内容につきましては、年度ごとに作成する教育振興重点目標に盛り込んでいきます。
3	桜が丘東	V 主要施策 1 生きる力をはぐむ幼稚園教育、学校教育の充実 (2)目標指標 全国学力調査の結果	8	令和6年度(目標) プラス1ポイント →県内市町村順位で常にベスト5以内に入る。	具体的な順位を目標とする考え方もあるとは思いますが、相対的な順位ではなく、児童・生徒それぞれが、1問ずつ正解数を増やすことを大切に、全国平均プラス1ポイントを目指しています。 全国学力調査の結果を見ながら、年度ごとに作成する教育振興重点目標の中でも目標指標について検討していきたいと考えています。
4	桜が丘西	IV 基本目標	5	喫緊の課題でもある迫りくる多くの災害に対応すべく『防災教育の充実』を掲げ、教職員・子ども・家庭・地域への防災意識の向上を目指し、危機管理への取り組みが必要と考察するが、市の考えは如何に？	『防災教育の充実』につきましては、「第2次赤磐市総合計画」の推進施策として「災害に強い地域づくり」「防災体制の強化」を図っていくこととしています。教育委員会においてもこの計画に基づき関係機関と連携しながら、防災教育に取り組んでまいります。
5	桜が丘西	V 主要施策 3 生涯学び続ける意欲を喚起する生涯学習 (4)推進施策 ①公民館の充実 公民館の耐震化	18	災害時における『避難場所』としての位置づけでもある、公民館の耐震化は重要な課題であるが、目標設定をすべきと考えるが、市の考えは如何に？	公民館の耐震化について中央公民館では、平成30年度に劣化調査を実施しており、市の本庁舎と連携しながら耐震補強工事を実施するよう計画的に準備を進めているところです。また基幹公民館や地区公民館についても各支所と併せて、今年度劣化調査を実施し、整備計画を策定する予定です。